

浜工新幹線脱線事故 原因不明なのに妨害説!?

10月23日発生した新幹線浜松工場内での脱線事故で、本日会社は、ホームページで「(事故原因は)浜松工場に入線する分岐器(内方分岐器)において、分岐器先端のレール摩耗の進行により、車輪がレールに乗り上げたため」と明らかにしました。

しかし、事故当日いち早く、新幹線各職場では社員に対して、「妨害的要素は否定できない。列車妨害に警戒し、不審者・不審物には特段の注意を払うように」と、注意喚起が促されていました。会社は何を言いたいのでしょうか?浜工の脱線事故は列車妨害によるものとも言いたいのでしょうか?

もしそうだとしたら、まだ脱線事故の原因が解明されていない段階で、そのような主張をするのは非常に軽率な行為です。JR西日本福知山線脱線転覆事故で事故発生直後、JR西日本幹部は「置き石の可能性があると、写真を公開したことは記憶に新しいことです。共に、列車妨害説を流布したことになります。自社責任を他に責任転嫁しようとする体質は、東海も西も同じです。

これでは、真の安全が疎かになります。私たちは、安全確立のために、チェック機能を強化し、闘いを進めていきます。

**福知山線事故で置き石説を流布した
JR西日本の体質と全く同じ!**